

みやぎ地域づくり交流会

2013年6月15日
発行
みやぎ地域づくり交流会



きずな通信 No. 9

事務局
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

毎年恒例となった
荒砥川自然満喫会が、
6月9日(日)たけのこタワー東
駐車場を出発点として荒砥川
沿いのウォーキングコースを中
心に行われました。
今年、梅雨入りが例年より
早く天候が心配されていまし
たが、当日は晴天に恵まれ、地
区内外から集まった約100名の
参加者が新緑の荒砥川の自然
を満喫しました。



花に囲まれてウォーキング!



大自然に かくまれて

第4回荒砥川自然満喫会行われる



また、今年もフラワーパー
クの協力を得て園内を散策さ
せていただき、きれいに咲いた
バラを眺めながらのウォーキ
ングとなりとても楽しめまし
た。

散策終了後は、今年も河川
敷で恒例の山野草の天ぷらが
振舞われました。回を重ねる
と参加者も野草の味を覚えて
いて『これはうまいんだよね』と
いう声も聞こえるようになり
ました。初めて参加した地区内
の女性は『雑草がこんなにおい
しいとは思わなかった』と話し
ていました。



おいしそうな天ぷら～



除草作業の様子

6月1日、今年度第1回目の荒
砥川美化運動が行われまし
た。

今回は自然満喫会に備え、ウ
ォーキングコースに沿って、草
刈りやゴミ拾いが中心に行わ
れました。関係者以外の参加
者が少ないのがちょっと残念で
したが、私達が住む地域の河川
がきれいになり、いつでも散策
できることにご理解をいただ
き、今後行われる美化運動に
は多くの皆さんが参加くださ
ることをお願いいたします。



平成24年度

地区内報告会
開催される

去る3月23日、みやぎ地域
づくり交流会の平成24年度地
区内報告会が宮城公民館で行
われ、三部会の部長が一年
間の活動実績をスライドを用
いて説明しました。また今年度
は、ぐんまスクール・オブ・ザ・
イヤーの優秀賞に輝いた宮城
中学校の生徒によるボランティア
活動の実践発表も行われ、
寸劇をまじえたその素晴らし
い発表に参加者一同は大変感
心していました。

最後には、昨年に引き続き
広報委員が撮影編集した一年
間の活動ダイジェストの映像
が上映され、充実した有意義
な報告会となりました。



宮城中生徒による発表

今年もやります！！

地域づくり交流フェスタ 2013

日時：6月23日(日)9:30~16:00

場所：前橋市総合福祉会館

みやぎ地区も参加し、活動発表、パネル展示や

『いいもんケーキ』を販売致します。

またその他にお子さんが楽しめるイベントが盛りだくさん。

6月23日の交流フェスタに向けて各地区の代表者が集まり、会議を重ね、イベントの企画内容を検討したり各地区の地域を支える様々な取り組みやその苦労、面白さを話し合ってきました。とても元気になるイベントだと思えます。日頃地域づくりに取り組む方も、地域での活動に興味がある方も、どなたでも大歓迎ですので、是非ご来場ください。



のみやぎ地域づくり交流会



地域づくり交流会

平成25年度役員紹介



- 会長 北爪 一郎
- 副会長 高橋 洋一
- 野口 光一
- ふれあい交流部会
 - 部会長 大崎博之
 - 副部会長 杉山直一
- 自然文化交流部会
 - 部会長 井上憲明
 - 副部会長 宮田光子
- 福祉交流部会
 - 部会長 櫻井善志
 - 副部会長 深津敏明

広報委員会

- 委員長 上野実
 - 委員 大崎博之
 - 東宮秀樹
 - 権澤安之
 - 阿久澤孝子
- 広報委員会では、今年度もきずな通信を年間4回発行予定しています。また昨年度作成した7つの町のキャラクターをより多くの皆様に親しんでいただけのようにしていきたいと思っておりますので、「意見等ありましたら公民館または下記へメールにてご連絡いただきたい」と思っています。

広報委員会 e-mail
michellpork@yahoo.co.jp



【宮城地区 石の伝説④】

大前田町の夜泣き石

大前田町世良田薬師の境内に凝灰岩の自然石がある。
この石は「大前田の夜泣き石」と呼ばれ、以前、内方沼北の田の畔にあったが、30年ほど前の土地改良事業のとき、現地に移動したものである。
その昔、ある代の田の所有者が、耕作に邪魔になるこの石を、内方沼に転がり落としてしまった。ところが夜になると泣きながら少しずつ沼から上がってきて、幾度落としても元の位置に戻ってしまったという。
そして、地域の人々はいつからか「夜泣き石」と呼び、子どもの夜泣き癖を治す願掛けの石とされ信仰された。
内方沼は土地改良事業時に埋め立てられ、当時の面影を偲ぶものはなにもない。しかし、夜泣き石には、今でもお神酒の入った竹筒が奉納されていることがあり、人々から信仰されている。

(自然文化交流部会員 五百部 記)

